

市政一般質問発言通告書（個人）

令和 7 年 11 月 25 日

多治見市議会 議長 様



会派名 政友会

12 番議員 氏名 吉田 企貴

質問題名	観光立市という考え方
質問要旨	都市経営を行う上で、人口減少が所与の条件となっている以上、「人口が減っても元気なまち」を目指していく必要がある。 人口減少がもたらす負の側面のうち、最も深刻なものは「消費の減退による都市機能の低下」であり、もう一つは「労働力の不足」であると考えられる。今後、大学の誘致を契機に労働力の不足については一定程度改善が見込まれるが、飲食店をはじめとするサービス業、バスやタクシーと言った公共交通機関などの都市機能を維持する「消費」は、今後は外から呼び込んでくる必要があると考える。 以上のような観点に立った時、「観光」という概念を軸に多治見市政全体を捉える必要があることから、以下の通り質問する。
質問項目①	多治見市にとって、「観光」とは何であると考えているか。
質問項目②	「多治見市産業観光振興計画」及び「地域経済戦略」について。
質問項目③	観光入込客数について、どう捉えているか。
質問項目④	E B P Mに基づく観光戦略について。
質問項目⑤	シティブランディングについて。
質問項目⑥	メディアの活用について、どのように考えるか。
質問の相手方	企画部・経済部長